

経営比較分析表

佐賀県 武雄市

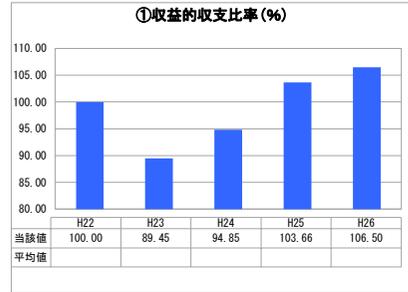
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.61	101.78	4,104

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,359	195.40	257.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,308	0.66	3,496.97

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

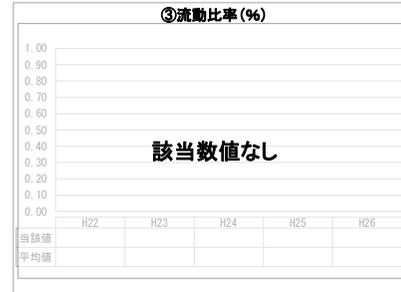
1. 経営の健全性・効率性



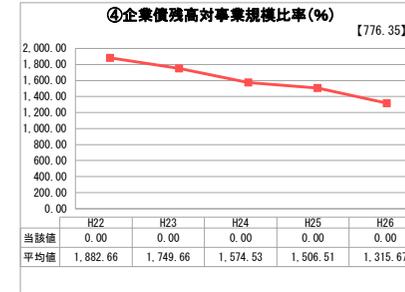
「単年度の収支」



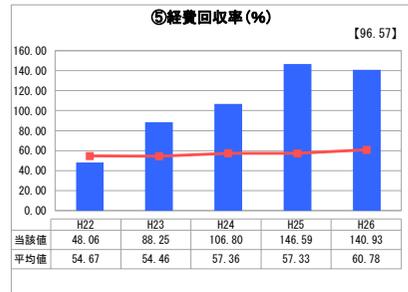
「累積欠損」



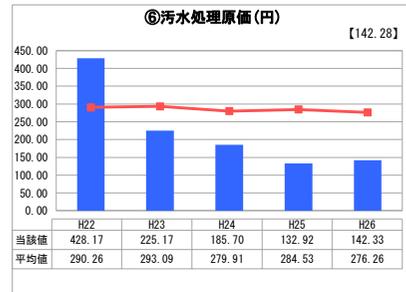
「支払能力」



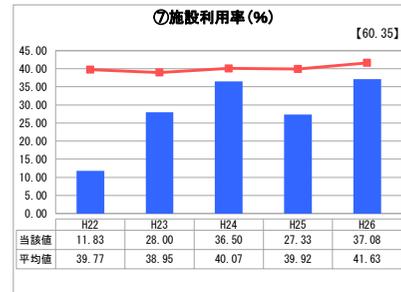
「債務残高」



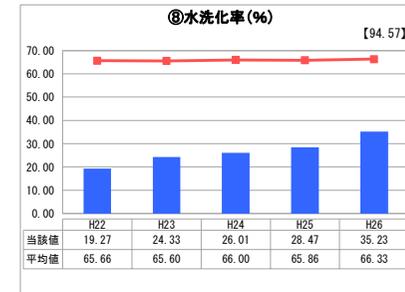
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

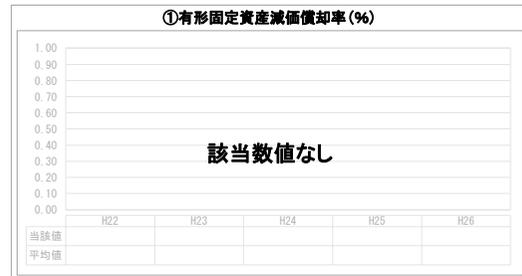


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は106.5%と単年度収支については黒字であり、経費回収率についても約141%と良好な状況にあるが、他会計繰入金の占める割合が約64%と高いため、引き続き接続率を上げる等経営改善を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の公共下水道の供用開始は平成19年度からであり平成27年度現在では老朽化には至っていない。

全体総括

収益的収支比率や経費回収率が平均値より高く、汚水処理原価は低いことから健全な状況にあるといえるが、水洗化率や施設利用率が低いことから未接続者が多く、普及が進んでいる状況にはないと考えられる。当市は公共下水道事業を推進している段階であり、供用区域を拡大しつつ、併せて接続率を高めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。